

学校便り「かがやき」No.7

「自ら学びを調整する」

ひと昔前の学校教育は、「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」「正解・知識の暗記」を目指していました。そうすれば社会で通用していたのです。

しかし、「みんなと同じこと」「言われたことを言われたとおりに」「知識の暗記」は、今まさに機械やコンピュータ、AI がミスなく行う時代です。ですから、子供たちが大人になることには、約半数の仕事が自動化され、今、存在している職業の半数以上がなくなるとも予測されています。

だからこそ、小学生の頃から、自らの学びを調整する力を付ける必要があります。勉強でどこが分からなかったのか、テストでどこをまちがっていたのか、自ら分析して改善のための学習を行うことそれが「学びの自己調整」です。家庭学習にも「学びの自己調整」取り入れてほしいです。

本日、3年生以上の学年で学力調査を実施しました。長崎市立の小学校ではすべて実施しています。結果については、7月の保護者面談でご家庭にお知らせします。（委託業者からの結果開示がその頃になります。）その結果を今後の学習に生かせるような子供を育てていきます。

校長 原口徹弥